

# 猟具の取扱い(わな)

---



## 狩猟免許更新講習用資料 (栃木県自然環境課)

※環境省作成の指定管理鳥獣捕獲等事業従事者  
研修資料を一部引用しています

# 主なわなの種類

くりわな



バネの力でワイヤーを締めて捕獲

箱わな



箱の中の仕掛けで扉を閉めて捕獲

囲いわな



囲いの中の仕掛けで扉を閉めて捕獲

# 主なわなの特徴

種別	コンセプト	1回の捕獲数
くくりわな	気づかれずに捕る	1頭
箱わな	餌で誘引して捕る	イノシシはグループ捕獲も可
囲いわな		群れ捕獲も可

# わなによる捕獲の利点

- 一人で多くのわなを管理できる
- 夜間も捕獲できる  
(銃器による止めさしを除く)
- 銃器より安全管理や技術獲得が容易
- 技術がない人でも協力できる作業が多い

# わなによる捕獲の実施条件

- 毎日の見回りが行える体制
- 捕獲後できるだけ早く止めさしが行える体制
- 捕獲に至るまで、長期間見回り等が行える体制
- 人の立ち入りが少ない箇所に設置
- 対象鳥獣以外が錯誤捕獲される危険性を認識

# わなによる捕獲のポイント

- 対象鳥獣が出没する場所を選ぶ
- 安全が確保できる場所に設置する
- 特に捕獲後の状況を想定した留意が必要
- 警戒心を解いて、わなに誘導する(箱わな)
- 確実に拘束する
- 適切に殺処分を行う

# くくりわなの構造上の規制

シカ、イノシシの捕獲 ⇒ ●○適用

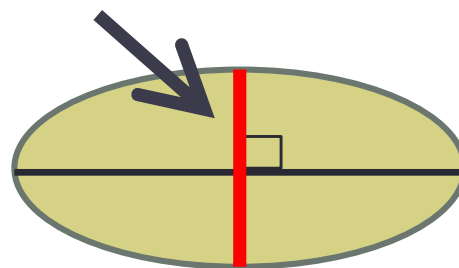
シカ、イノシシ以外の捕獲 ⇒ ○適用

● ワイヤーの直径は4mm以上

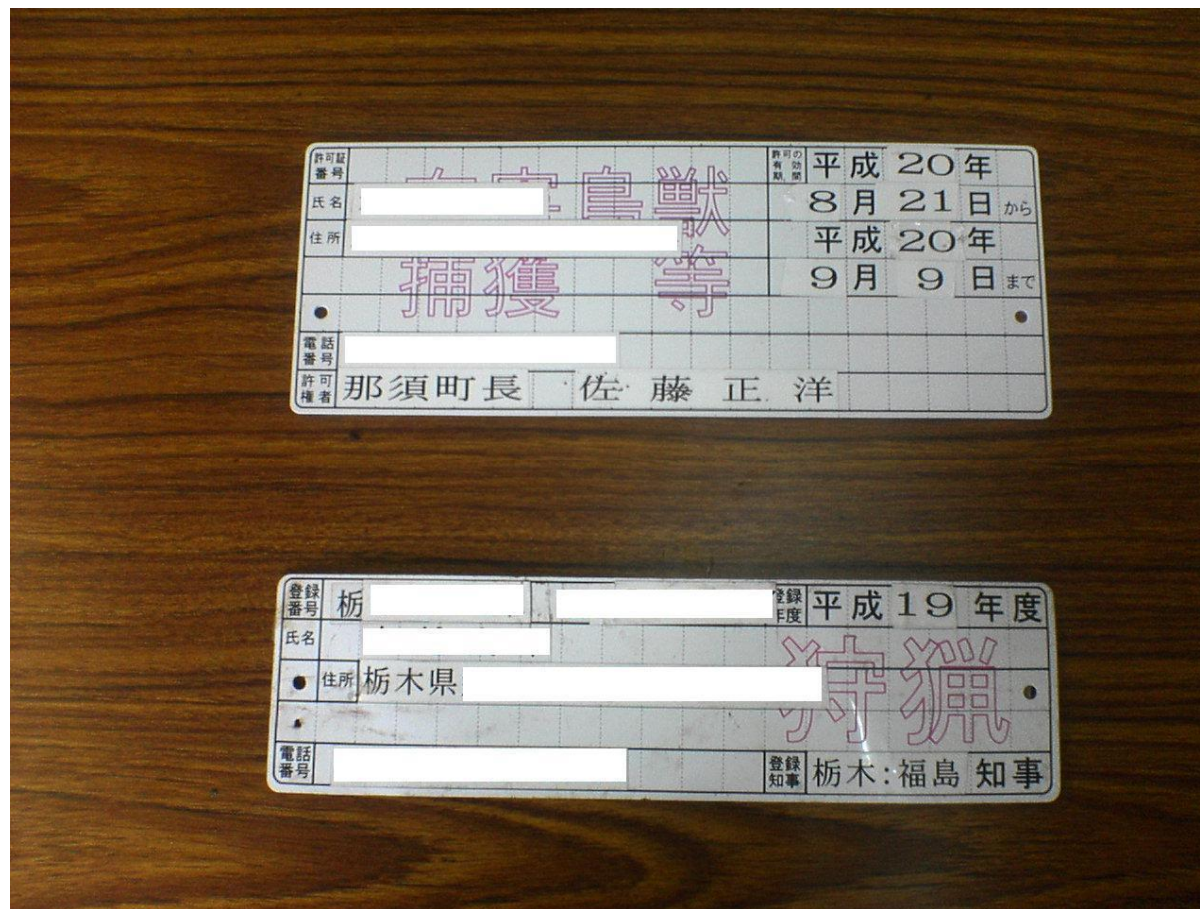
● 「よりもどし」の装着

○ 「締め付け防止金具」の装着

○ 直径（楕円形の場合は小さい方）は12cm以内



# 標識の取り付け



縦横 1 cm以上の大きさの文字で記載  
使用する猟具ごとに添付する

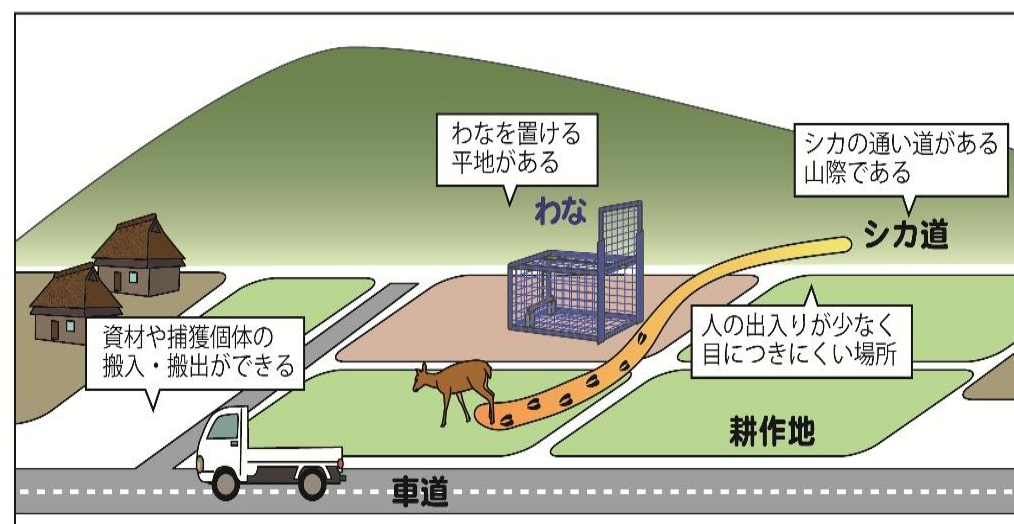
# 注意看板の設置による立ち入り規制



法定義務ではないが、推奨

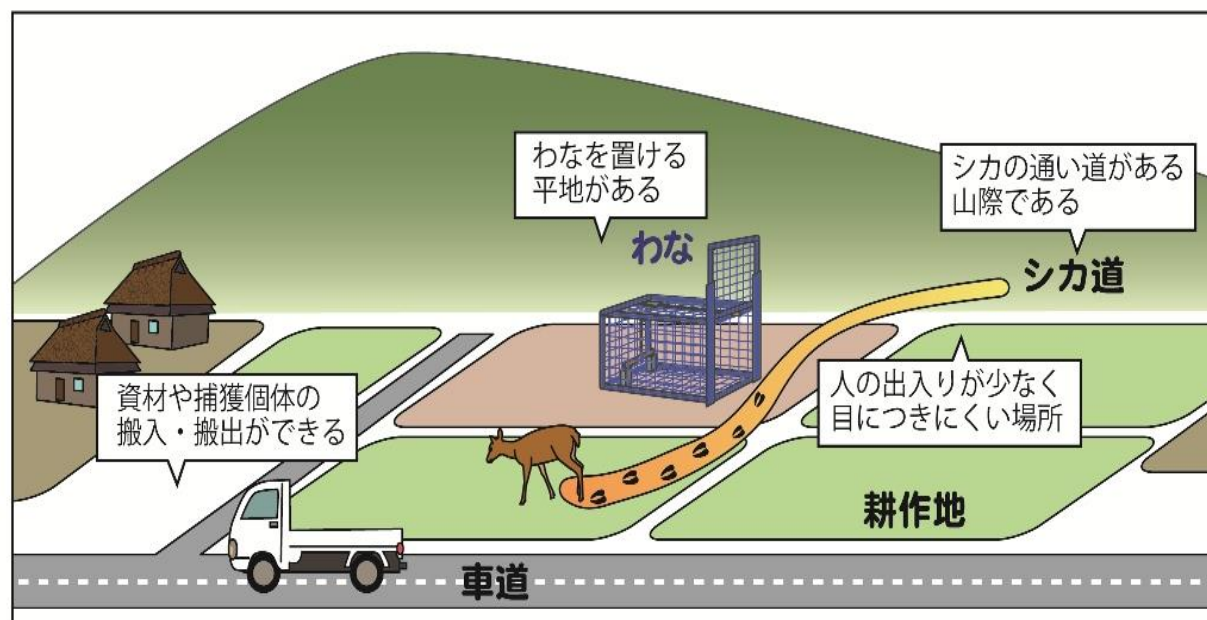
# わな設置場所の選定(運用面)

- 捕獲しやすい場所
- 見回りのしやすい場所
- 処分、搬出がしやすい場所
- 土地占有者の承諾が得られる場所



# わな設置場所の選定(安全面)

- 一般の人があまり出入りしない場所
- 標識等により設置がわかりやすい場所
- 見通しが良い場所 など



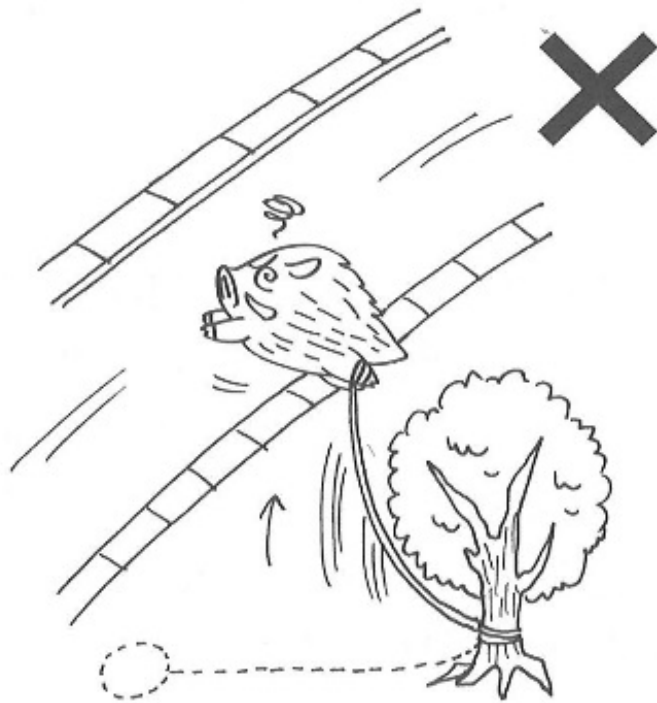
# 土地所有者の承諾

- 土地や立木を荒らす可能性
- 見回りのための出入りがあること
- 想定される危険性 ……などを説明

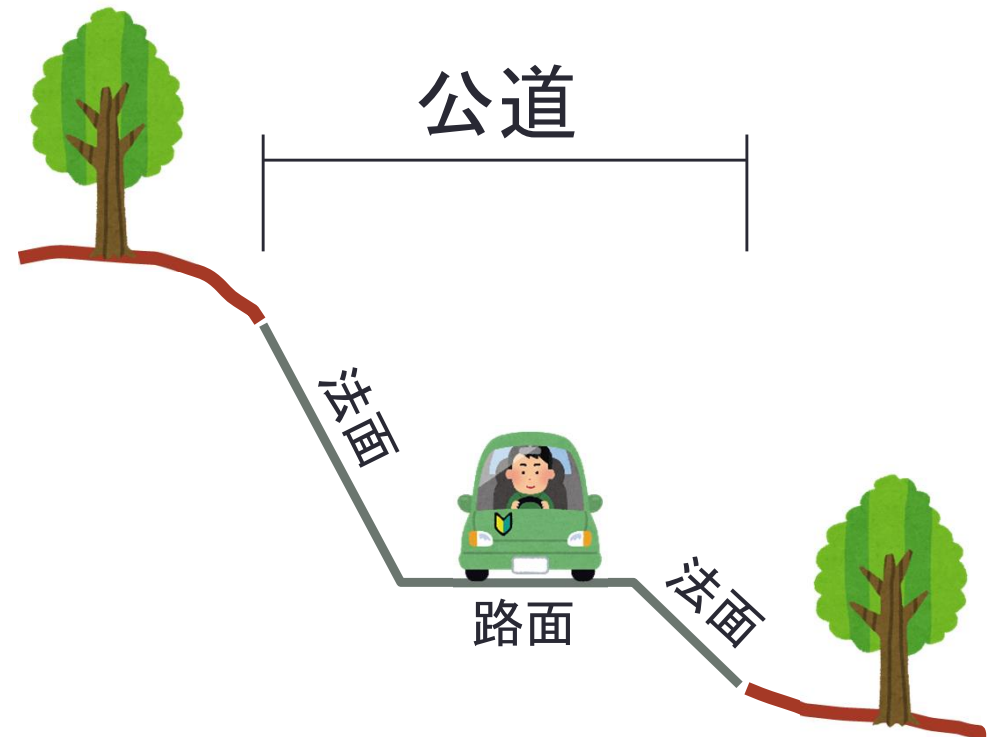
くくりわなでの捕獲は土地への  
ダメージが大きい



# 公道上での捕獲は禁止



捕獲個体が公道にはみ出しても違法



法面も公道の扱い

## くくりわなのポイント①

- 確実に足をつく場所の見極めが必要
- 誘引するために餌を使う方法もある
- ワイヤーは丈夫な木に固定  
⇒ 捕獲した鳥獣の逃亡・事故防止



## くくりわなのポイント

- 止めさし時の事故が多い
  - ⇒ ワイヤー、根付け木、くくられた足の切断に注意
  - ⇒ 確実に固定して動きを止めてから止めさし
- 常に見回りし、風雨により露出したものは補修
- 長期間作動していないわなは、土砂等により不作動の可能性

# 箱わなのポイント①

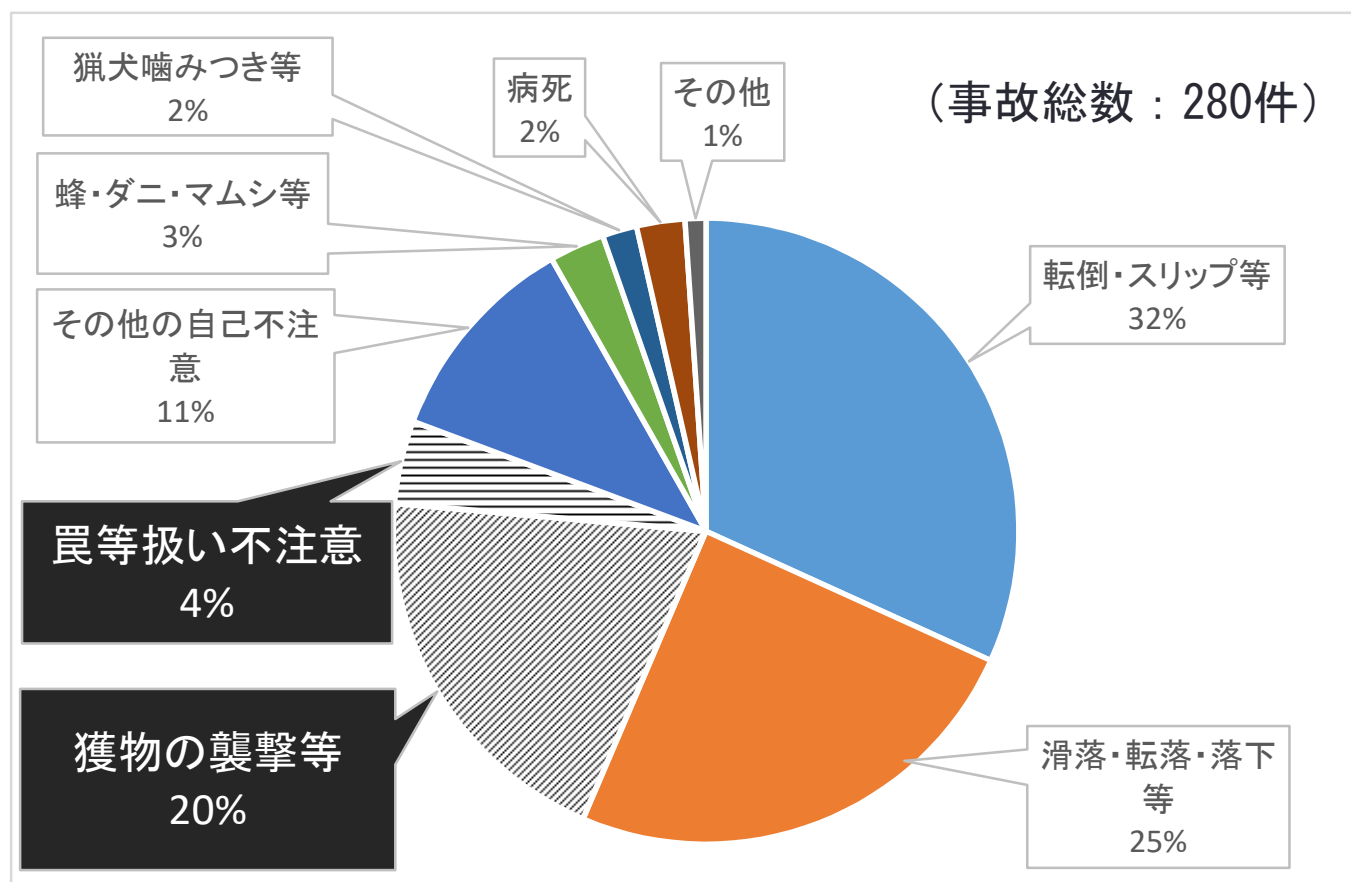
- 設置はバリアフリーを意識
- 底のメッシュは土で埋める
- 山際や藪際に設置し、違和感を低減



## 箱わなのポイント②

- 内部に誘引するまで根気よく餌付け
- 食欲 > 警戒心 になるまで待つ
- 餌をやり過ぎない
  - ⇒ 外の餌だけで満足させない
- 十分に誘引してから仕掛けをセット
  - ⇒ 入った獲物を確実に捕獲
- 自動撮影カメラで誘引状況を確認しながらの  
わな運用で、捕獲効率向上

# 銃器以外の自損事故発生状況

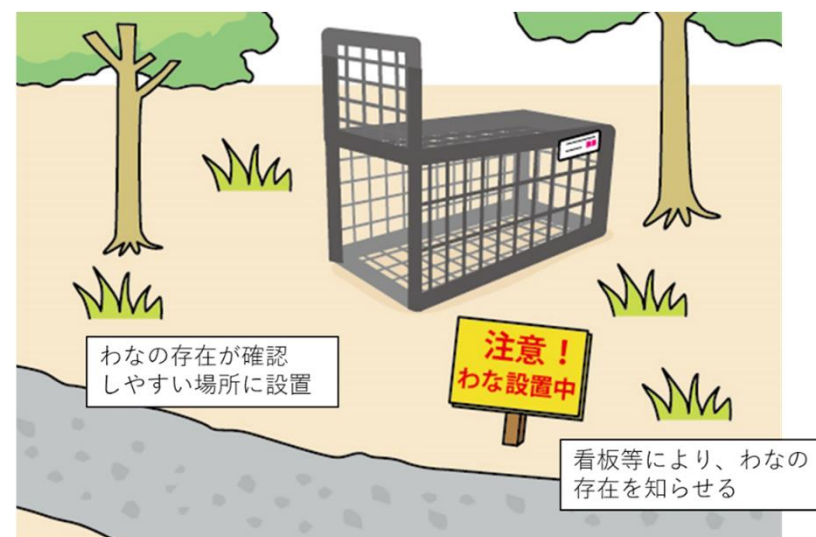


平成29(2017)年度大日本猟友会  
狩猟事故共済事業データ

- わな設置時の事故
- 止めさし時の事故

# わなの作動に関する注意

- ❑ 大型動物を拘束できる強力なわなは、人にとっても危険
- ❑ 仕組みや取扱いに習熟する
  - 誤作動による危険を回避する
- ❑ 誤って人が近づいて作動しないように、設置場所を工夫したり、標識等で注意喚起を行う



# 止めさし時の注意①

- 止めさし作業は、最も危険性が高い
- 止めさしは必ず2人以上で作業する
- 状況に合った適切な止めさし方法を選択する
- わなの破損有無の確認をする



## 止めさし時の注意②

- くくりわなでは必ず斜面の上方から近づく
- 捕獲動物を動けなくして(保定して)行う
- 相手の動きをよく見極めて対処する
- 初心者は、経験者の処置を十分に  
見学してから実施する



# 毎日の見回りの徹底

- 捕獲個体を早期に発見し、適切に処理することで安全性を確保
- 捕獲効率の向上
  - ⇒ カラハジキへの即時対応
  - ⇒ 獲物の足のつきかたの検討
- 錯誤捕獲の防止

地表に露出したわな



# 錯誤捕獲を防ぐ方法

- わなの形状や作動条件等を工夫する
- 餌を使う場合は、餌の種類を工夫する
- 日々の見回りで対象外種の寄り付きを事前に察知する

